

秋田県防災基本条例（仮称）の制定に向けた県民アンケート（第2回）の仕様（案）

目 的

秋田県防災基本条例（仮称）の制定に向け、県民ニーズの把握のためのアンケートを実施し、調査結果を県及び検討会議の検討材料とするとともに、県民が防災の必要性を認識するきっかけとする。

調査手法

美の国あきたネットに設置した回答フォームへの入力による。
（10月11日開催の防災シンポジウム等で配布するアンケート用紙を回収した上での入力代行を含む。）

調査対象

年齢や性別、居住地（県内・県外）などを問わず、誰でも回答できるものとする。

調査期間

令和8年8月 日（ ）～10月15日（木）

調査項目

テーマ『地域防災の担い手と役割』

第1回県民アンケートによると、県民の「災害への備え」の自己採点は平均約**50点**であり、「**高齢者等の避難**」や「**被災後の避難環境やライフラインの確保**」に対する不安の声が多く寄せられた。

こうした課題を解消するため、災害発生時に助け合うことができるコミュニティをつくり、災害対応力を向上させていくには、「誰」の「**どういう行動**」が期待されているかを調査する。

Q1 災害発生時には、避難経路が遮断されたり、一定期間ライフラインが途絶えたりする懸念があります。

そのような場面では、自分の身を守る〔自助〕と同時に、地域の人達と助け合って避難したり、避難生活を送ったりすること〔共助〕が想定されます。地域には高齢者や乳幼児がいる場合もあります。

あなたは、災害に関わる3つのフェーズにおいて、**誰を最も頼りにしますか**。次の選択肢から選んでください。

選択肢

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 自分自身・家族 | ☐ 近隣住民 |
| ☐ 町内会・自主防災組織 | |
| ☐ ボランティア | |
| ☐ 企業・事業者 | ☐ 学校 |
| ☐ 市町村 | ☐ 県 |
| | ☐ その他 |

フェーズ1 災害に備える段階（平時）

フェーズ2 避難行動をとる段階

フェーズ3 避難生活や復旧を行う段階

Q2 Q1で選択した主体について、選択した理由や期待する役割を入力してください。（自由記述）

分析方法

単純集計のほか、自由記述欄のコメントを「テキストマイニング」手法で分析



調査結果を第2回検討会議へ提示して検討



秋田県防災基本条例（仮称）素案へ反映



この画像は生成AIにより作成したものです。